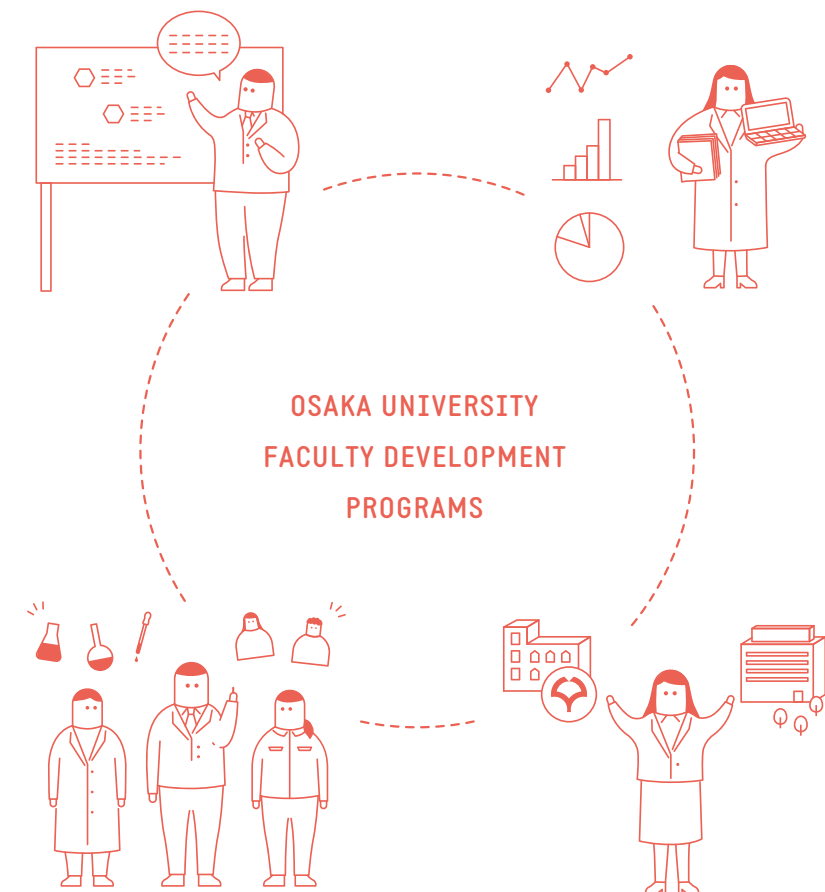


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

2023 年度

4 月～9 月

大阪大学教員の皆様へ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの日常生活は一変しましたが、本学では、教育・研究活動への影響を最小限とするため、できるだけ平常時に近い状態で大学活動を行えるよう対応を進めてきました。また、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中では、これまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であると考えています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、アフターコロナに対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

アフターコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2023年度前期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ **教育能力 開発プログラム** 10時間以上
- ▶ **研究能力 開発プログラム** 4時間以上
- ▶ **社会学連携能力 開発プログラム** あわせて6時間以上
- ▶ **マネジメント能力 開発プログラム** あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE（授業支援システム）」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

修了証書

あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日
大阪大学理事・副学長

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限120時間）。

詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

🔗 研修プログラム一覧〈令和5年度上期(2023.4～2023.9)通年開催分〉

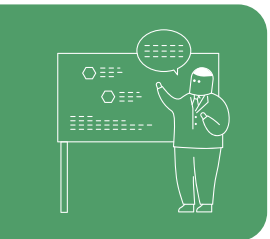
カテゴリ	掲載 ページ	対象者 の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
研究	P.12	○	総合解析センター説明会	対面	4月5日 13:45-16:45	3	50名	日本語	産業科学研究所
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	4月13日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
5月									
教育	P.6	—	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	5月15日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
教育	P.6	—	本学における障がい学生支援	オンライン	5月25日 12:15-13:30	1.25	制限なし	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	5月25日 15:10-16:40	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
6月									
社会学連携	P.16	—	阪大ブランドの発信地としての大学博物館	対面	6月2日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
教育	P.6	—	学生の心理	オンライン	6月6日 13:00-14:30	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
8月									
教育	P.7	○	国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修	オンライン	8月21日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	国際教育交流センター
9月									
教育	P.7	—	授業づくりワークショップ	オンライン	9月5日・6日 各日10:00-18:00	20	16名 (最小開催 人数4名)	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	大学におけるカルト問題	オンライン	9月5日 13:30-15:00	1.5	60名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
研究	P.12	—	産学共創により研究成果を社会実装するには！	オンライン	9月20日 16:00-18:00 9月27日 16:00-18:00	計4	100名	日本語	共創機構
複数月開催									
研究	P.12	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	対面	8月～9月に 4回開催	1.5× 4回	20名	English	微生物病研究所
未定									
マネジメント	P.17	—	URA (University Research Administrator) と 研究者のキャリア形成の接点を考える	オンデマンド	未定	1	制限なし	日本語	経営企画オフィス URA 部門
教育	P.8	—	英語版授業づくりワークショップ 教育の国際化のためのFDワークショップ ー学習者中心のアプローチを学ぶー	対面	未定	12	15名程度	English	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.17	○	工学研究科新任教員研修	対面	未定	6 (予定)	30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.17	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会	オンライン	未定	3	制限なし	日本語	基礎工学研究科
教育	P.8	○	理学教育カリキュラム反省会	オンライン	4月上旬 13:30-16:00	2.5	150名	日本語	理学研究科
マネジメント	P.18	○	産研安全講習会	オンデマンド	4月下旬 -5月下旬	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.18	○	バイオセイフティー講習会	対面	4月下旬 -5月下旬 10:00-12:00	2	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.18	○	蛋白研安全講習会	対面又は オンライン	未定(5月頃)	1	200名 程度	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.18	—	新入教職員安全衛生講習会	未定	未定(5月頃)	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	詳解:化学物質安全取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部

※掲載内容は2月7日時点の情報です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載 ページ	対象者 の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
マネジメント	P.20	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	電気コンセントと電気配線の安全講習	対面 オンライン オンデマンド	対面・オンライン: 5月中旬-下旬 オンデマンド: 5月下旬-6月中旬	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	○	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	未定	6月中旬 ～3月予定	2	制限なし	日本語	総務部人事課人材育成係
マネジメント	P.21	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	未定	6月下旬 -7月上旬	1	制限なし	日本語	理学研究科
マネジメント	P.21	—	ハラスメント加害者リスクを回避する方法について	対面 オンライン	7月開催予定	1.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
マネジメント	P.22	—	ハラスメントを回避する方法について (被害者・傍観者にならないために)	対面 オンライン	7月開催予定	1.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
教育	P.8	—	自殺防止セミナー	対面 オンライン	8月開催予定	1.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
研究	P.13	○	研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する説明会	対面 オンライン	8月下旬頃	1.25	130名	日本語	産業科学研究所
教育	P.9	—	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	オンライン オンデマンド	オンライン:9月頃 13:30-16:00 オンデマンド: 10月頃-3月	2.5	オンライン: 300名 オンデマンド: 制限なし	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
随時・定期開催									
研究	P.13	○	生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)	対面 オンライン	毎週火曜日 12:15-13:00	0.75	300名	日本語/ English	生命機能研究科
研究	P.13	○	ISTランチセミナー	対面	毎週1回程度 12:00-13:00	各回 1	各回 20名	日本語/ English	情報科学研究科
教育	P.9	○	FD研修会	対面又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名 程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.13	○	蛋白研コロキウム	対面又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名 程度	日本語	蛋白質研究所
社会学連携	P.16	○	ISTネットワークングイベント	対面 オンライン	隔月(年間5回)	各回 1.5	各回 30名	日本語	情報科学研究科
教育	P.9	—	授業支援システム(CLE)入門講座	オンデマンド	4月1日 -3月31日	1.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.9	—	授業支援システム(CLE)応用講座	オンデマンド	4月1日 -3月31日	2.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.10	—	シラバスの書き方	オンデマンド	4月1日 -3月31日	3	制限なし	日本語/ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	—	学習評価	オンデマンド	4月1日 -3月31日	3	制限なし	日本語/ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	—	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	オンデマンド	4月1日 -3月31日	1.5	制限なし	日本語	SLICSセンター サイバーメディアセンター 全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.14	○	不正防止について	オンデマンド	4月中旬～ (適宜)	0.33	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.14	—	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンデマンド	6月1日 -3月31日	1	制限なし	日本語	附属図書館/ 経営企画オフィス URA 部門
教育	P.11	—	教育のための動画・メディア制作入門	オンデマンド	9月1日(予定) -3月31日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ ライフサイクルサポートセンター
研究	P.14	—	アドバンストセミナー	対面 オンライン	毎月1回 (8月,3月を除く) 16:00-17:00	各回 1	対面:未定 オンライン: 制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	微研集談会	オンライン	毎月第4火曜日 (8月,12月,1月 を除く) 16:00-17:00	各回 1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所/ 免疫学フロンティア研究センター



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 4月13日 13:30-15:00 5月25日 15:10-16:40

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



 制限なし  1.5時間  日本語  オンライン

外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

講師：魚崎典子(国際教育交流センター 特任准教授)

オンライン 5月15日 13:30-15:00

〈キーワード〉外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

〈概要〉政府は「日本再興戦略2016」の中で外国人留学生の日本国内での就職率を向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合先：国際教育交流センター ☐ career@ciece.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講希望者は、キャリアセンター HP (<http://career.osaka-u.ac.jp/staff/>) のセミナー申し込みサイトより申し込んでください。》



 40名  1.5時間  日本語  オンライン

本学における障がい学生支援

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 5月25日 12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮、説明

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とする。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたい。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ☐ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に掲載する開催案内に記載のICHOフォームにて事前申し込みをお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

 制限なし  1.25時間  日本語  オンライン

学生の心理

講師：石金直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 6月6日 13:00-14:30

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉上記のテーマ(学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ)について講義形式で学びます。後半は講師より架空事例を提供し、ディスカッションを行います。学生支援の最前線を担っている参加者の方々が学生を理解する手がかりや関わりのスキルやヒントを得ることを目指します。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ☐ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に掲載する開催案内に記載のICHOフォームにて事前申し込みをお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

 40名  1.5時間  日本語  オンライン

限定 国際交流科目担当者及び国際交流科目に興味のある構成員

国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修

講師：石倉佑季子(国際教育交流センター 准教授)

オンライン 8月21日 13:30-15:00

〈キーワード〉国際交流科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、その単位互換のため、授業の質保証が強く求められています。また英語で開講されること、本学の一般学生も同時に受講することなど、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、国際交流科目特有の問題や悩みをテーマとして取り上げ、参加者同士で実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。今回の研修では国際交流科目のシラバス、特に授業タイトル、授業目的と到達目標の見直しに焦点を当て、学生にわかりやすいシラバスにするために共にシラバスの見直しをしていきます。

《問合先：国際教育交流センター 短期プログラム開発研究チーム ☐ kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定。メールにて申し込むこと(新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)。》

 20名  1.5時間  日本語  オンライン

授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

村上正行(全学教育推進機構 教授)

浦田悠(チューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)

金賢眞(チューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

楠本真二(全学教育推進機構／情報科学研究科 教授)

オンライン 9月5日、6日 各日10:00-18:00

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉本ワークショップでは、学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか？オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか？今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価の内容を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。※パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。※全課程修了後に修了証が授与されます。※途中からの参加・退出はご遠慮ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催2週間前までに申し込みください。》

 16名
(最小開催
人数4名)  20時間  日本語  オンライン



大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンライン 9月5日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生に対する予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

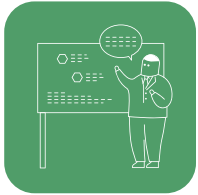
《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ☐ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に掲載する開催案内に記載のICHOフォームにて事前申し込みをお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

 60名  1.5時間  日本語  オンライン

 定員  受講時間  使用言語  研修形式

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

英語版授業づくりワークショップ 教育の国際化のためのFDワークショップ ー学習者中心のアプローチを学ぶー

講師：有川友子(国際教育交流センター 教授)

豊中 未定

〈キーワード〉 Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉 In this workshop, participants will learn about teaching and learning through a learner-centered approach by learning and practicing the theory of course design and through two micro-teaching sessions (mock classes). Participants will learn about the four themes of course design (Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, and Instructional Strategies) and design their own courses in the morning session.

During the microteaching session in the afternoon, each participant will give a 5-minute microteaching session on his/her own subject and receive comments and feedback from the instructor, co-instructors (former workshop participants), and other participants. By the time of the second microteaching session, participants will have prepared for the second micro-teaching session by considering areas for improvement. The workshop is essentially conducted as a face-to-face workshop. However, please note that depending on the situation of covid-19, this workshop may be cancelled or may be online.

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催日の2週間前までに申し込みください。》



限定 理学研究科

理学教育カリキュラム反省会

講師：桂木洋光(理学研究科 教授)

藤原彰夫(理学研究科 教授)

オンライン 4月上旬 13:30-16:00

〈キーワード〉 新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉 新カリキュラム、プロジェクト教育及び大阪大学における教育改革等について報告・議論します。

《問合せ先：理学研究科 学務係》
✉ ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：3月中旬に理学研究科全教員にメール配信するため、事前申し込みは不要です。》



自殺防止セミナー

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 **オンライン** 8月開催予定

〈キーワード〉 孤立無援感の危機、メンタル不調の早期発見、共感力

〈概要〉 学生のみならず、大阪大学全構成員の心の健康維持増進に寄与することを目的として、メンタル不調の早期発見、孤立無援感を払拭する在り方、関わり方について、「共感の重要性」「早期発見」「危機介入」を中心に、ご紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科コンプライアンス室レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室》
✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。》
✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム

講師：未定

オンライン 9月頃 13:30-16:00 **オンデマンド** 10月頃-3月

〈キーワード〉 教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉 本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

- 1.基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います
- 2.グループセッション

《問合せ先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係》
✉ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7～8月頃に各部局宛に受講者募集に係る通知を予定。》



限定 蛋白質研究所

FD研修会

講師：各回により異なる

吹田 又は **オンライン** 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉 教育、研究、蛋白質

〈概要〉 従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》



授業支援システム(CLE)入門講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)

浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉 本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》
✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》



授業支援システム(CLE)応用講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)

浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育DX

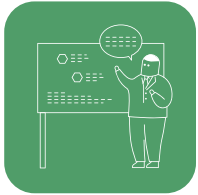
〈概要〉 本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》
✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》



※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハナビ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

シラバスの書き方

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。教員の採用や昇進時に、シラバスが評価されることも多くなっています。本セミナーでは、学生の学習を最大限に促すために、シラバスの書き方を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業設計についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスを提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業のシラバスを送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☞ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》



学習評価

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☞ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》



オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

浦田悠(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)

オンデマンド 4月1日-3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で利活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。

* 受講の際は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（WindowsもしくはMac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

* ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo窓口（echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☞ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》



教育のための動画・メディア制作入門

講師：榎藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

オンデマンド 9月1日(予定)-3月31日

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉現在、授業をはじめとする教育の現場で教員自らが動画を制作する機会が増えています。本プログラムでは、プレゼンテーション動画・インタビュー動画、記録動画など教育現場における動画制作手法の基本を理解し、簡単な動画教材が作成できるようになることを目指します。
なお本プログラムは、オンライン（オンデマンド型）で実施します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☞ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月7日時点の
情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 産業科学研究所

総合解析センター説明会

講師：鈴木健之(産業科学研究所 准教授)
他 9 名

吹田 4月5日 13:45-16:45

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター 》
✉ cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp

《申込方法：電子メールによる申込み受付。》

50名 3時間 日本語 対面

産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：<共創機構>

北岡康夫(機構長補佐/イノベーション戦略部門長)

奥田英一郎(イノベーション戦略部門 知的財産室長)

神谷俊行(共同研究支援室長)

井上隆弘(産学官連携オフィス オフィス長)

濱田格雄(イノベーション戦略部門 人材育成室)

<ゲストスピーカー>

講師調整中(医学系研究科)

谷口正輝(産業科学研究所 教授)

水原善史(大阪大学ベンチャーキャピタル(株)投資部第1 グループリーダー)



100名 計4時間 日本語 オンライン

オンライン 9月20日 16:00-18:00、27日 16:00-18:00

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《問合せ先：共創推進部 共創企画課 総務係 》
✉ kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：【期日】8月23日(水)17:00

【申込方法】マイハンダイより申込(https://my.osaka-u.ac.jp/admin/sangaku/ccb/shinnin)

【申込時記載事項】所属、役職、氏名(ふりがな)、連絡先(メールアドレス、電話番号)、受講を希望する講座番号
※「新任教員研修としての受講」の場合は、受講状況の管理のため、必ず阪大「個人ID(半角英数字)」をお知らせ願います。》

限定 微生物病研究所

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening(非常勤講師)

吹田 8月～9月に4回開催

〈キーワード〉Academic English, Scientific writing skills, English presentation skills, English communication skills, Group work

〈概要〉英語による研究プレゼンテーションについて基礎から学びます。またプレゼンテーションスキルだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 》
✉ kikaku@biken.osaka-u.ac.jp

《申込方法：開催約1か月前にメール通知後、メールによる参加受付。》

20名 1.5時間×4回 English 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

限定 産業科学研究所

研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する説明会

講師：関野徹(産業科学研究所長)
大岩顕(研究倫理委員会 委員長)

吹田 オンライン 8月下旬頃

〈キーワード〉研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉研究所長及び研究倫理担当教授による講義後、事務担当者からの補足説明を行います。研究活動を行う上で、厳守すべき研究倫理と、研究費の不正使用について理解することで、研究不正行為を防ぐことを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 総務係 》
✉ sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：開催の約1か月前に所内周知を予定。受講希望者は、各研究分野・付属施設ごとに取りまとめの上、メールにて担当部署まで申し込む。》

130名 1.25時間 日本語 対面
オンライン

限定 生命機能研究科(兼任教員在籍の他理系部局も含む)

生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

吹田 オンライン 毎週火曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉このセミナーシリーズは、週一回のランチタイムに生命機能研究科関係者、研究室ごと(入れ替わり)で、最新の研究紹介し、研究内容や課題を共有し研究交流促進が図られています。お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室 》
✉ fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp

《申込方法：上記問い合わせ先へ申し込み、視聴すること。》

300名 0.75時間 日本語 対面
English オンライン

限定 情報科学研究科

IST ランチセミナー

講師：情報科学研究科 准教授、講師、助教(特任も含む)

吹田 毎週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 》
✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp

《申込方法：毎週、研究科内の教職員宛てに受講に係る通知を予定。》

各回 20名 各回 1時間 日本語 English 対面

限定 蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

講師：各回により異なる

吹田 又は オンライン 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 》
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》

60名程度 各回1時間程度 日本語 対面又は
オンライン

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター

不正防止について

講師：微生物病研究所長

オンデマンド 4月中旬～（適宜）

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われる。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知。
受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし 0.33時間
日本語 オンデマンド
English

オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

オンデマンド 6月1日-3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係 ☒ tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。
大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後には所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

制限なし 1時間
日本語 オンデマンド

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 毎月1回（8月、3月を除く）16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制（メールで申込）。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む。》

対面：未定
オンライン：制限なし
各回1時間
日本語 English
対面 オンライン

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター／医学系研究科

微研集談会

講師：各回により異なる

オンライン 毎月第4火曜日（8月、12月、1月を除く）16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究会セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究会セミナーである。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む。》

制限なし 各回1時間
日本語 English
対面 オンライン

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。



阪大ブランドの発信地としての大学博物館

講師：宮久保圭祐(総合学術博物館 准教授)

【豊中】 6月2日 13:30-15:00

〈キーワード〉大学博物館、アウトリーチ、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用している。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考える。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係》 ☒ kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：4月～5月頃に受講者募集に係る通知を予定。》

【限定】 情報科学研究科

IST ネットワーキングイベント

講師：第一線で活躍する研究者

【吹田】 【オンライン】 隔月(年間5回)

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ☒ ura@ist.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定。》

15名 1.5時間 日本語 対面

各回 30名 各回 1.5時間 日本語 対面 オンライン

社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

定員

受講時間

使用言語

研修形式

URA (University Research Administrator) と 研究者のキャリア形成の接点を考える

講師：経営企画オフィス URA

【オンライン】 未定

〈キーワード〉URA、研究推進、外部資金、IR

〈概要〉本研修は、研究者のキャリア形成をURAとの「2つの接点」から捉えることにより、今後の活動に関し新たなヒントを得ていただくことを目的とします。1つ目の接点「URAを活用する」では、URAが提供する研究活動発展のための学内プログラム等を説明します。2つ目の接点「URAになる」では、研究者としての日頃の活動に実は含まれているURA的な側面や、研究者のキャリアを活かして活躍しているURAの事例を紹介します。

《問合せ先：経営企画オフィス URA 部門》 ☒ takano.makoto.omp@osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：事前申し込みは不要です。
大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後には所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

【限定】 工学研究科

工学研究科新任者研修

講師：工学研究科長

大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員
その他講師は調整中

【吹田】 未定

〈キーワード〉工学研究科、研究倫理、研究不正防止、財務基本知識、ハラスメント防止、教員・事務系職員のチームビルディング

〈概要〉工学研究科を取り巻く状況(約40分)、工学研究科におけるコンプライアンスの取り組み(約30分)、工学研究科の財務基本知識(約40分)、工学研究科の研究力強化について(約30分)、フューチャー・デザイン(約80分)、ハラスメントを回避する方法(約30分)、交流研修(約100分)により構成され、全体で約6時間を予定し、工学研究科の新任教職員を対象とする。
新たに工学研究科に赴任され、教育・研究又は事務を担当する教職員を対象に、本研究科の現状を認識し、大学における教育・研究およびその支援を担当する教職員としての使命、役割、心構えを持つことを目的とする。円滑に業務を遂行するために、教員・事務系職員との交流を促進する。

《問合せ先：工学研究科 総務課 人事係》 ☒ kou-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：開催1カ月前頃、研究科内対象者宛に通知を予定(メール配信)
出欠の可否について、直接担当部署宛に連絡いただく予定。》

【限定】 基礎工学研究科

基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長
事務部 等

【オンライン】 未定

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。
基礎工学部・基礎工学研究科の教育を担当することになった教員等を対象に、大阪大学、基礎工学部、基礎工学研究科の現状についての認識を深めるとともに、大学教育を担当する教員として、教育に関する力を高めることを目的とします。

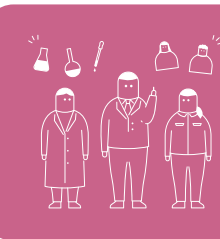
《問合せ先：基礎工学研究科 人事係》 ☒ ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：4月以降に対象者向け通知を発出予定。対象者は参加の可否をメールで回答します。》

制限なし 1時間 日本語 オンライン

30名 6時間 (予定) 日本語 対面

制限なし 3時間 日本語 オンライン



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

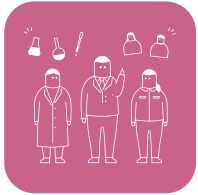
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

限定 産業科学研究所

産研安全講習会

講師：技術職員

オンデマンド 4月下旬-5月下旬

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研に新しく来られた学生・教職員全員が対象に行う安全衛生講習会です。

〈目的〉化学実験、ガス・薬品管理、工作機械取扱、電気管理、大学ネットワーク利用などについて知識を習得することを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 技術室 奥村由香 ☞ okumura@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月に電子メールにて所内等へ通知。》

限定 産業科学研究所

バイオセイフティー講習会

講師：バイオセイフティー担当教員

吹田 4月下旬-5月下旬 10:00-12:00

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。

〈目的〉遺伝子組み換え実験、動物実験、RI実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合せ先：産業科学研究所 西野邦彦 ☞ nishino@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月～5月に電子メールにて所内等へ通知。》

限定 蛋白質研究所

蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 又は オンライン 未定（5月頃）

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☞ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》

新入教職員安全衛生講習会

講師：未定

未定 未定（5月頃）

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的としている。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☞ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催通知発送後、マイハンダイ上に申込フォームを公開しますので、受講希望者は直接お申し込みください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド

50名 2時間 日本語 対面

200名程度 1時間 日本語 対面又はオンライン

未定 1.5時間 日本語 未定

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSⅣ)の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム（OCCSⅣ）

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム（OCCSⅣ）の使用方法（化学薬品の登録と集計）を習得することを目的としている。
また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☞ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。
また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☞ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系（生物系・物理系等）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☞ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

吹田 豊中 オンライン 5月中旬-下旬 オンデマンド 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。
また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☞ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

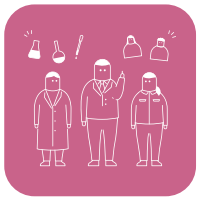
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

豊中 **オンライン** 5月中旬-下旬 **オンデマンド** 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 **オンライン** 5月中旬-下旬 **オンデマンド** 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 **豊中** **オンライン** 5月中旬-下旬 **オンデマンド** 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

吹田 **豊中** **オンライン** 5月中旬-下旬 **オンデマンド** 5月下旬-6月中旬

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



限定 新たに採用された教職員・研究員、前年度対象者のうち未受講者

大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：西尾章治郎(大阪大学 総長)

金田安史(大阪大学 理事)

田中敏宏(大阪大学 理事)

豊岡宏規(大阪大学 理事)

未定 6月中旬～3月 予定

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。

本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係 ☐ soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月程前に、各部局等に対し受講に係る通知を発出予定。》



限定 理学研究科

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

未定 6月下旬-7月上旬

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合せ先：理学研究科 人事係 ☐ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定。事前申し込みは不要です。》



ハラスメント加害者リスクを回避する方法について

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 **オンライン** 7月開催予定

〈キーワード〉ハラスメント、コミュニケーション、感情のコントロール、他者視点、レジリエンス

〈概要〉ハラスメントの訴えがあった場合に、ハラスメントと認定されなかったとしても、その後の研究・教育・業務に支障を来すことが予想されます。人間の行動は、感情によって規定され、感情は、欲求・期待・希望の満足度によって規定されています。満たされない何かを抱えている時、感情・情動が暴走して、ハラスメントに至ることがほとんどです。レジリエンスの構成要素でもある、感情を上手に扱う（感情力）ことが、ハラスメント加害者リスクを減らすことになると考えています。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室 ☐ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。 ☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



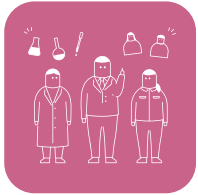
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月7日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



マネジメント能力
開発プログラム

ハラスメントを回避する方法について
(被害者・傍観者にならないために)

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 オンライン 7月開催予定

〈キーワード〉ハラスメント、加害者心理、被害を未然に防ぐスキル（断る・逃げる・止める）、レジリエンス

〈概要〉本プログラムでは、ハラスメントを回避して、更なる研究・教育・業務が円滑に展開される一助となることを目的としています。ハラスメントの被害者・傍観者、あるいは加害者の取り巻きになることを避けるためには、境界線を越えてくる相手に対して、物理的・心理的距離を取ることが大切になります。心理的距離を取るとは、加害行為に対して、拒絶する心構えのことです。この心構えについても、具体的に紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室
✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。
✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



対面：
30名



1.5時間



日本語



対面
オンライン

希望する受講プログラム

受講済 ✓	開催日	プログラム名	カテゴリ	時間数	備考
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h
	/		・教育 ・社会学連携	・研究 ・マネジメント	h

※掲載内容は2月7日時点の
情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



定員



受講時間



使用言語



研修形式